
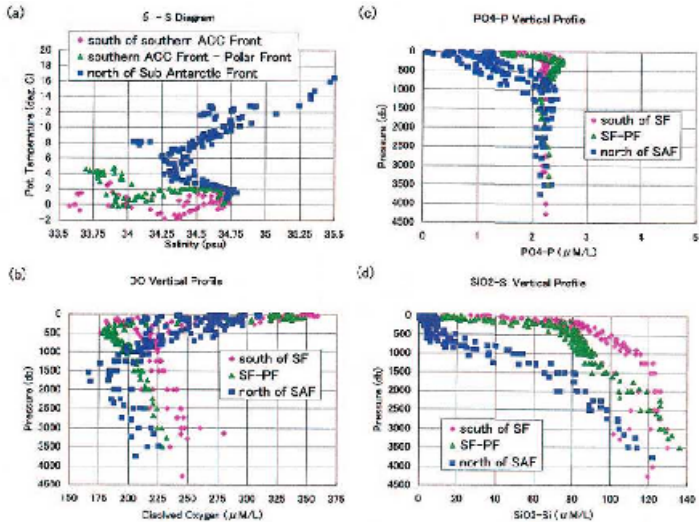


【タイトル】	海洋化学
【サブタイトル】	
【観測期間】	1966年～現在
【観測風景】	
【データ概要】	定点において停船し、ニスキン採水器による採水をCTD観測に合わせて行う。得られた海水試料につきpH、溶存酸素、栄養塩の分析を行う。
【データ名】	海洋化学分析データ
【観測点】	インド洋 南極海 太平洋
【データ形態】	アナログ及びデジタルデータ
【データ期間】	1966～現在
【データ取得サンプリング】	定点
【観測機器】	表面採水および各層観測で採取した海水を、塩分・溶存酸素(ウンクラークーペンター法)・リン酸塩(モリブデン青吸光光度法)・ケイ酸塩(モリブデン青吸光光度法)・亜硝酸塩(ナフチルエチレンジアミン吸光光度法)・硝酸塩(銅・カドミウムカラム還元、ナフチルエチレンジアミン吸光光度法)・アンモニア(インドフェノールブルー法)・pH(ガラス電極法)について分析
【データ公開】	JARE Data Report・JODC( <a href="http://www.jodc.go.jp">http://www.jodc.go.jp</a> )
【データサンプル】	 <p>第4図 (a)ポテンシャル水温-塩分ダイアグラム並びに(b)溶存酸素、(c)リン酸塩濃度及び(d)ケイ酸塩濃度の鉛直プロファイル。プロット点の印は、フロント位置による海域分けに従って整理した。</p>
【データ管理者(問合せ先)】	海上保安庁
【e-mail】	
【関連機関】	
【主な研究成果】	